

いなみ野 工事だより



No.9

令和7年2月10日発行
いなみ野特別支援学校

第1期 解体撤去工事が始まりました(6月末終了予定)



ショベルカーが活躍中



G棟の教室跡



D棟の渡り廊下の端



高い囲いが立ち、防音パネルやシートできちんと安全確保がされています



仮設校舎3階からは壊されていく様子がはっきりと見えていました

【石綿(アスベスト)処理について】

石綿(アスベスト)とは、繊維状に変形した天然鉱物のことで、かつては建材などに広く利用されていました。そのため建築物の解体作業をする際には、法律に基づく事前調査・対策が義務付けられています。本校解体工事に際しても事前調査を実施した結果、飛散性が比較的低いものが確認されました。解体作業は飛散防止対策を徹底して行われます。

引っ越しの直後、「シーン」と静まり返った旧校舎を見ていると寂しい気持ちになりましたが、「アートプロジェクト」の絵ごと壊されていく様子には、更に何か大切な価値を持ったものが無くなっていく『空虚感』が湧いてきました。

でも、一方で狭くなった運動場で元気いっぱい走り回る子どもたちの様子や廊下まで広がる作業学習の道具など、新しい場所で少しずつなじんでいく柔軟さに力強さを感じました。仮設校舎の壁にはたくさんのアート作品も掲示してありました。解体工事の後に始まる新校舎建設にワクワク感を広げていきたいですね。



巳年いなみん